

# 取扱説明書

AC FLOOR FAN

## ACフローファン風機

品番

# AFL-233T FSSL-2332D

ACとは…交流モーターを示します

- この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 取扱説明書及び保証書は大切に保管し、いつでも見られるようにしてください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意	1-2
各部のなまえ	3
組み立てかた	4-6
ご使用方法	7-8
お手入れ	9
保管について	10
故障かな?と思ったら	11
仕様	12
アフターサービス	13
MEMO	14
保証書	裏表紙

**保証書付**

この取扱説明書(裏表紙)には保証書がついています。必ず捺印をお受けください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。


This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country.


# 安全上のご注意



必ずお守りください!



ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

図記号の例   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

  記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

本製品は送風によって涼感を得ることを目的として一般家庭用に生産された製品です。  
これ以外の用途では使用しないでください。

## 警告



禁止

- 本製品は修理、分解、改造を絶対にしないでください。  
発火したり、異常動作で感電したり、ケガをする恐れがあります。
- 本体内の機械部や隙間にピンや金属等の異物を入れないでください。  
感電・ショートなどの原因になります。
- 本体に水をかけないでください。高温多湿で水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。  
感電・ショートなどの原因になります。
- 電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。  
感電・火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。  
感電・ショートなどの原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったりたばねたりしないでください。  
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。  
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグに付着した汚れやホコリなどは、定期的に取り除いてください。  
汚れやホコリが残ったまま使用すると、異常発熱したり故障の原因になります。
- 海外では使用しないでください。  
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電・火災の原因になります。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。  
感電・ショートなどの原因になります。

## ⚠ 注意

- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上など高所に設置しないでください。  
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。  
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、弊社アフターサービスにご連絡ください。▶13ページ参照
- 風を長時間、直接身体に当てないでください。  
健康を害する恐れがあります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
- たたいたり、落としたり、強い衝撃をあてないでください。  
故障・ケガの原因になります。
- 小さなお子様だけの使用や、幼児の手の届くところでは使わないでください。  
感電・ケガをする恐れがあります。
- 次の場所では使用しないでください。  
発火して火災や爆発の原因になります。 ・ ガスレンジやストーブ等の炎の近く ・ 引火性のあるガスや液体の近く  
・ 雨や水がかかるところ ・ ホコリや金属粉の多い場所 ・ 油などの多い場所
- 障害物(カーテン等)が周囲を遮る場所では使用しないでください。  
障害物が後ろガードから吸い込まれ、故障・事故の原因になります。
- 衣類や布等を本体にかぶせないでください。  
故障・事故の原因になります。
- 風に吸い込まれやすいもの(紙・ひも)の近くで運転しないでください。  
吸いこまれたものが可燃性の場合、発火する恐れがあります。
- ガード内やモーター可動部に指などを入れないでください。  
ケガをする恐れがあります。特に小さなお子様はふれないよう注意してください。
- 異常な振動が生じた場合は運転しないでください。  
振動によって転倒や、高所から落下してケガをする恐れがあります。  
ガードや羽根の取り付けケガ悪い場合は、再度正しく取り付けてください。
- お手入れの際は、本体を水洗いしないでください。  
故障の原因になります。
- 本体を横に寝かせた状態で使用しないでください。  
故障・事故の原因になります。
- お手入れの際は、ベンジンやシンナー、アルコールなどを使用しないでください。  
火災・故障の原因になります。
- 組立前に電源を入れたり、羽根・ガード・スタンドベースを取り付けずに運転しないでください。  
故障・事故の原因になります。
- ガードにテープやシールなどを貼らないでください。  
故障・事故や異音の原因になります。
- 本製品は室内用及び家庭用です。屋外や業務目的で使用しないでください。  
故障の原因になります。



禁止



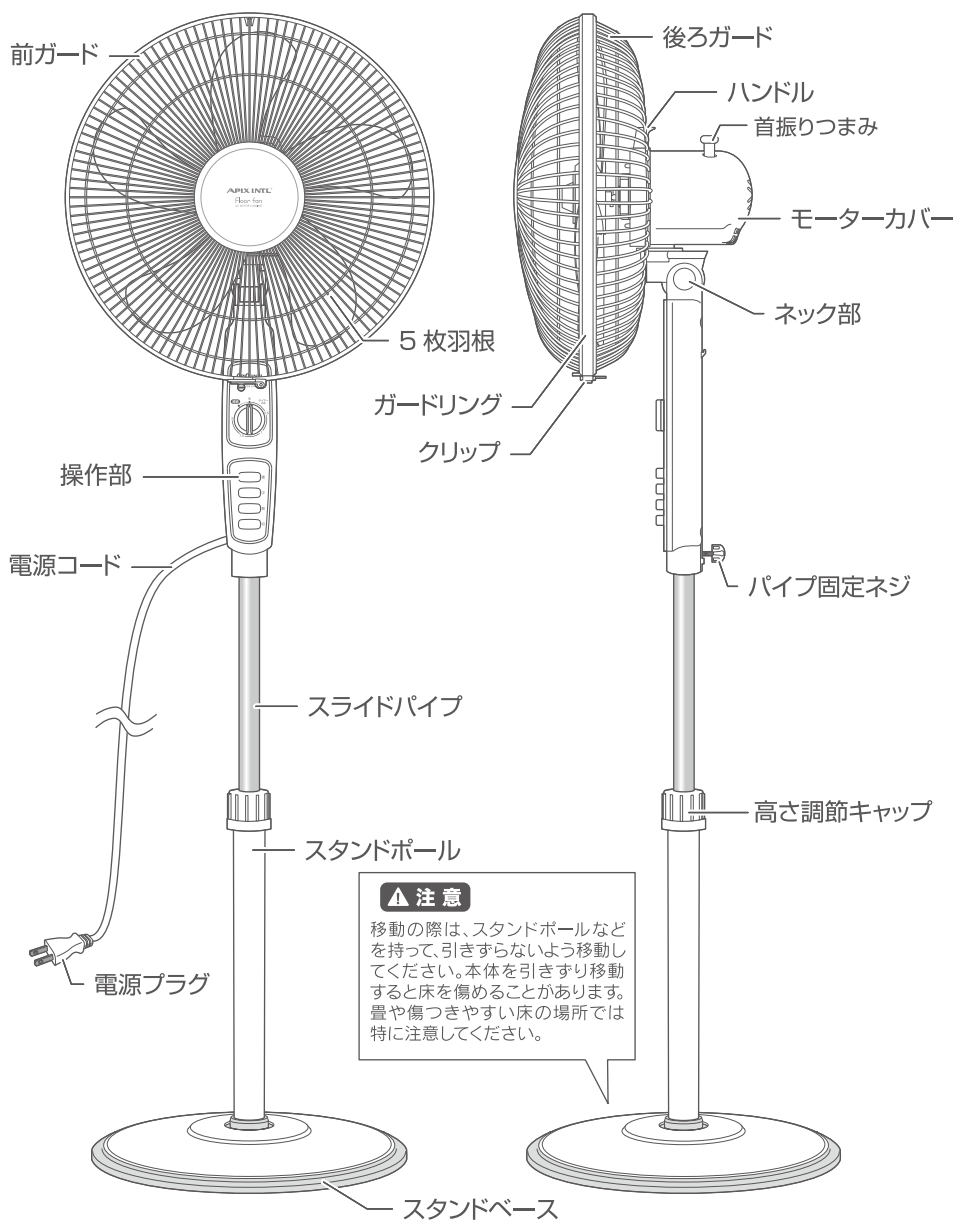
プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。  
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。  
感電・ショート・発火の原因になります。

# 各部のなまえ

正面図

側面図

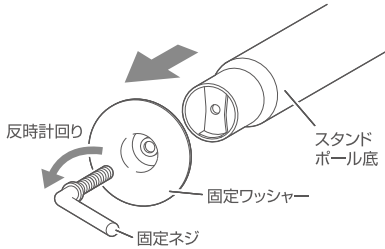


※本取説に掲載されているイラストと実際の商品は、若干異なる場合があります。

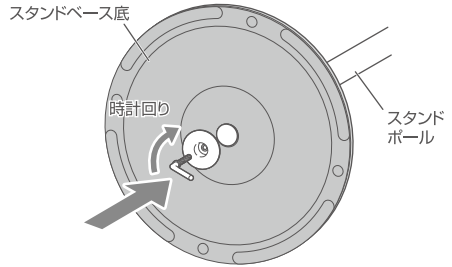
# 組み立てかた

## 1. 本体を組み立てる

- ① スタンドボール底の固定ネジを取り外す  
出荷時はスタンドボール底に固定ネジ  
固定ワッシャーがついています。  
反時計回りに回し、取り外します。

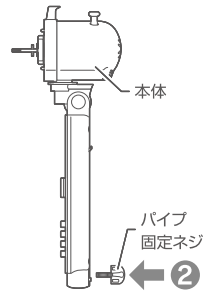


- ② スタンドベースにスタンドボールを固定する  
スタンドベースにスタンドボールを差し込み  
底面から固定ネジ、固定ワッシャーでしっかりと  
固定します。



### ③ 本体を取り付ける

高さ調節キャップでスライドパイプが動かない様にしっかり固定します。  
本体部のパイプ固定ネジを外し、スライドパイプに本体を  
差し込み(①)、パイプ固定ネジを締めて固定します(②)。

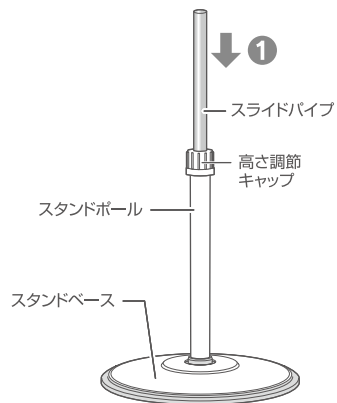
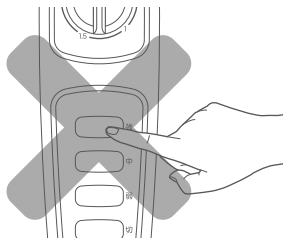


#### ▲ 注意

- 組み立て中に電源プラグをコンセントに差さないでください。
- パイプ固定ネジや高さ調節キャップは緩まないようにしっかりと固定してください。

### 完全に組み立ててからご使用ください

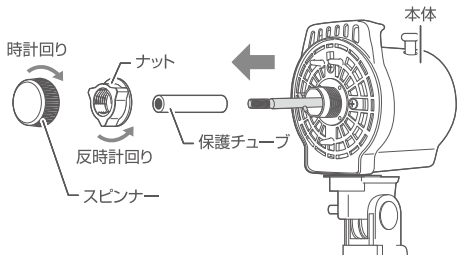
羽根・ガード・スタンドベースなどの部品をつけずに運転を  
しないでください。故障・事故などの原因になります。



# 組み立てかた(つづき)

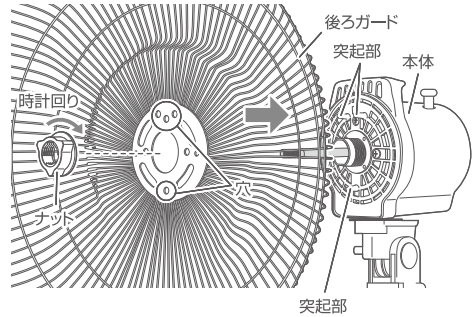
## 2. 後ろガードを取り付ける

① スピンナー、ナット、保護チューブを取り外す  
出荷時、右記3部品が取り付けられていますので取り外します。スピンナーは時計回りに回すと外れ、ナットは反時計回りに回すと外れます。保護チューブは保管時に使用しますので、捨てずに保管してください。



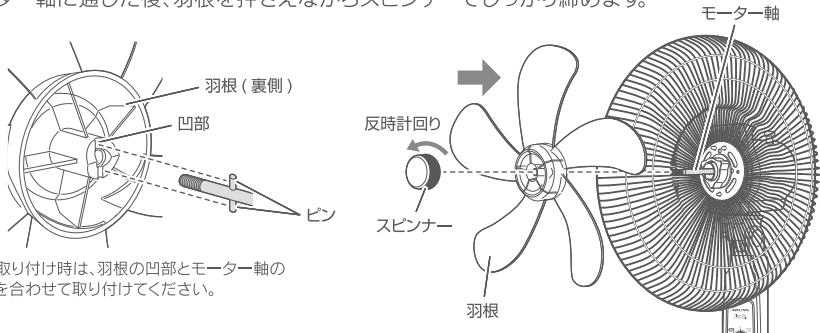
② 後ろガードをはめ込み、ナットで締める

本体の突起部と後ろガードの穴を合わせてはめ込み、ナットを時計回りに回してしっかり締めてください。



## 3. 羽根を取り付ける

羽根をモーター軸に通した後、羽根を押さえながらスピンナーでしっかり締めます。



羽根取り付け時は、羽根の凹部とモーター軸のピンを合わせて取り付けてください。

### ▲ 注意

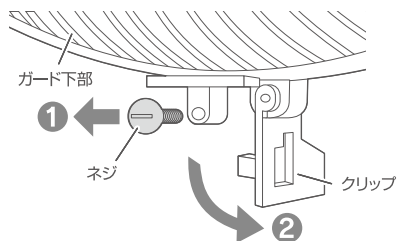
- 羽根のふちで指などをケガしないよう注意してください。
- ガード止めのナットやスピンナーは運転中にははずれないよう、しっかり締め付けてください。
- 羽根のシール(指入れ禁止)は剥がさないでください。(事故防止のための、法律で定められた表示です。)

# 組み立てかた(つづき)

## 4. 前ガードを取り付ける

### ① クリップを開く

前ガードクリップ部のネジをマイナスドライバーで取り外し(①)、クリップを開きます(②)。

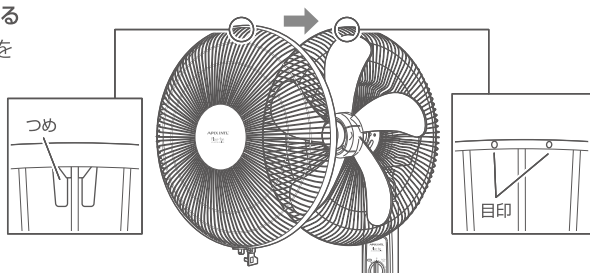


### ② 位置を合わせて前ガードを取り付ける

後ろガードの目印(2本線)の位置につめを差し込みます。

#### ▲ 注意

指などを挟まないように注意してください。

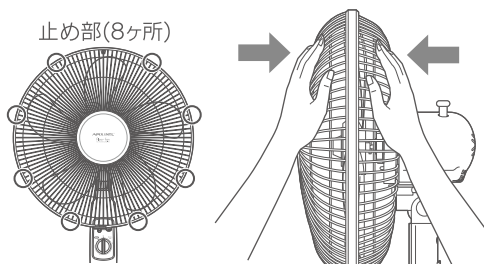


### ③ 外周をはめ込む

前ガードと後ろガードの止め部(8ヶ所)をクリップ周りから順にはめ込みます。

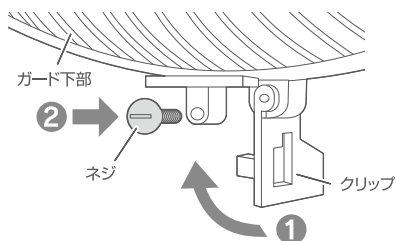
#### ▲ 注意

指などを挟まないように注意してください。



### ④ クリップを閉じてガードを固定する

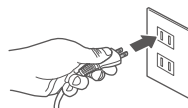
クリップを閉じ(①)、①ではずしたネジを元の穴にマイナスドライバーで固定します(②)。



# ご使用方法

電源プラグを家庭用(100V)コンセントに差し込みます。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。



## 1. 各ボタンの設定

### オフタイマーつまみ

オフタイマーを設定します

- 【連続】……………連続で運転
- 【切】……………運転を停止
- 【0.5】……………30分後に運転を停止
- 【1】……………60分後に運転を停止
- 【1.5】……………90分後に運転を停止
- 【2】……………120分後に運転を停止

- つまみで設定した時間経過後に運転が停止します。
- つまみ位置を「連続」に合わせると連続で運転します。
- つまみ位置を「切」に合わせると運転が停止します。
- オフタイマーを設定する際は一度いっぱいまで回してからお好みの時間に合わせてください。

#### ▲注意

オフタイマーつまみは可動域(時計回りに【連続】から【2】まで)を超えて無理に回さないでください。故障する恐れがあります。

### 風量ボタン

風量ボタンを押し、運転を開始します

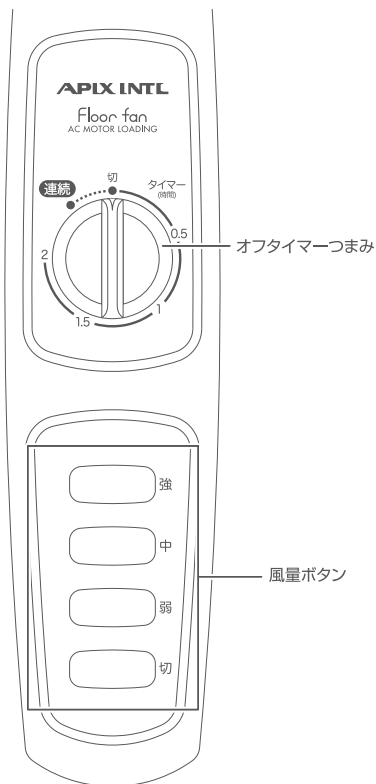
- 【強】……………風量【強】で運転
- 【中】……………風量【中】で運転
- 【弱】……………風量【弱】で運転
- 【切】……………運転を停止

- オフタイマーつまみが「切」の位置になっていると運転は開始されません。
- オフタイマーつまみが「連続」の位置になっていると切ボタンを押さない限り連続で運転し続けます。

#### ▲注意

風量ボタンを必要以上に強く押さないでください。無理に押すと故障する恐れがあります。

### 操作部





# ご使用方法(つづき)

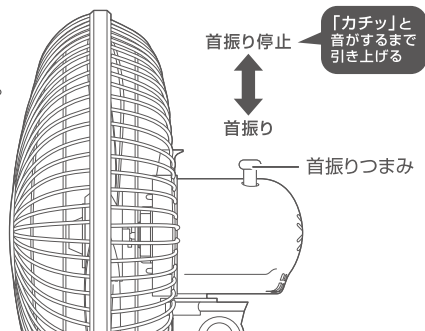
## 2. 首振り運転の設定

- 首振りつまみを下に押し込むと首振り運転に切り替わり、引き上げると首振り運転を停止します。

**首振り角度:78度(片側39度)**

### ▲ 注意

- 首振り時、または運転中に無理に方向を切り替えたりしないでください。故障の原因になります。
- 首振りをおこなうときは、周りにぶつかりそうなものや書類等がないか十分に確認してください。



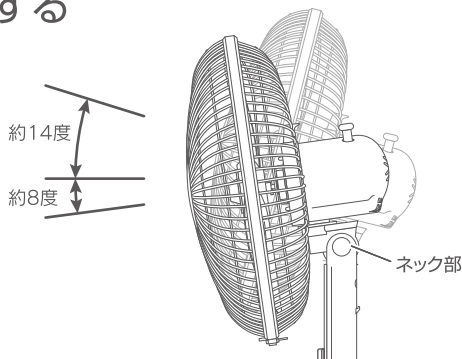
## 3. 上下風向き・高さを調節する

### ① 上下の角度を調節する

ネック部を軸に手動で上は約14度、下は約8度まで向きを調節することができます。

### ▲ 注意

無理に上下の角度を切り替えたり、引張ったり荷重をかけたりしないでください。故障やケガの原因になります。

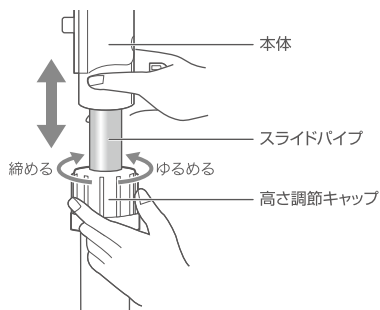


### ② 高さを調節する

片方の手で本体をしっかり支え、高さ調節キャップを反時計回りに回転させてゆるめ、本体を手で持ち上げます。高さを決め、高さ調節キャップを時計回りに回転させてしっかり締めつけてください。

### ▲ 注意

- 本体とスタンドボールの間に指をはさまないように十分に注意してください。ケガをする恐れがあります。
- 高さ調節をする時は本体が落下することがないようにしっかりと本体を持って支えてください。



# お手入れ

末永くお使いいただくために必ず定期的にお手入れをおこなってください。(1ヶ月に1回が目安)  
お手入れ前に運転を停止して電源プラグを抜いてください。

## 1. 本体のお手入れ

汚れがついたときは、柔らかい布でからぶきしてください。  
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布につけ、よく絞ってから拭くと汚れが落ちやすくなります。

### ▲ 注意

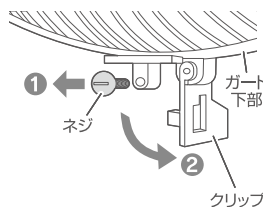
- シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・みがき粉は使用しないでください。
- 使用直後は、モーター軸などが熱くなっていますので、時間を置いてからお手入れをおこなってください。
- 羽根・ガード・ナット・スピナー以外は、水洗いをしないでください。故障や事故の原因になります。
- 本体内部に直接水や洗剤をかけて洗わないでください。感電や故障の原因になります。
- 長期間お使いになると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着する事がありますので、電源プラグを抜き乾いた布で拭き取ってください。



## 2. ガード内部のお手入れ

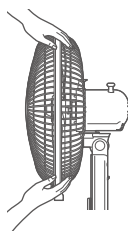
### ① クリップを開く

運転が完全に停止してからネジを外し(①)、クリップを開きます(②)。



### ② ガードのつなぎを外す

前ガードと後ろガードの止め部(8ヶ所)をクリップ周りから順に外します。

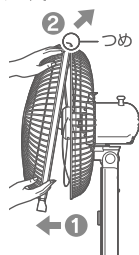


### ▲ 注意

外す際は、扇風機が転倒しないようしっかりと本体を押さえて外してください。

### ③ 前ガードを取り外す

前ガード下側を手前に引いた後上部のつめを外しながら斜め後ろに持ち上げるようにして外してください。



### ▲ 注意

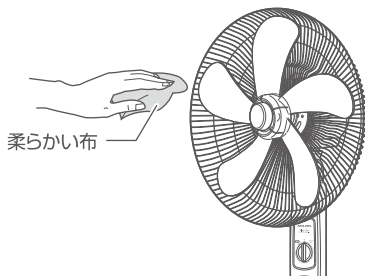
必ず両手で取り外してください。落下等で破損やケガの原因になります。

### ④ 羽根・ガードのお手入れ

柔らかい布やガーゼ等でからぶきしてください。  
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布につけよく絞ってから拭くと汚れが落ちやすくなります。

### ▲ 注意

羽根のふちで指などをケガしないよう注意してください。



# 保管について

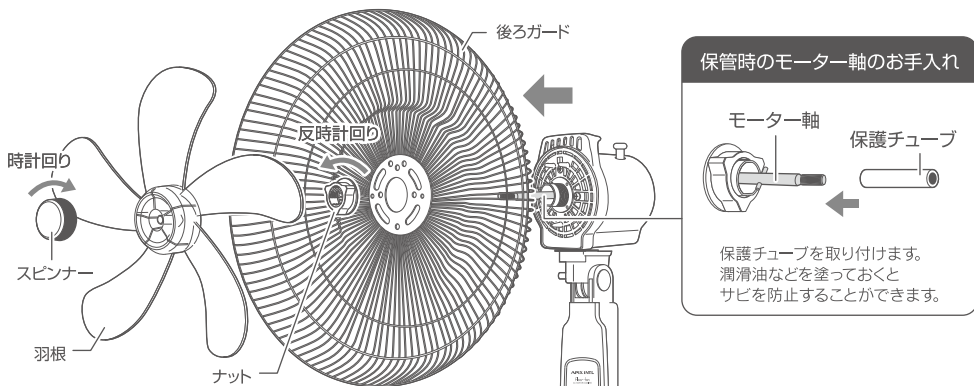
シーズン終了後は、必ずホコリを取るなどのお手入れをおこなってから保管してください。

※前ガードの取り外し方は9ページを参照して下さい。

## 1. 羽根・後ろガードの取り外し方

スピナー・ナットを取り外し、羽根・後ろガードを取り外す

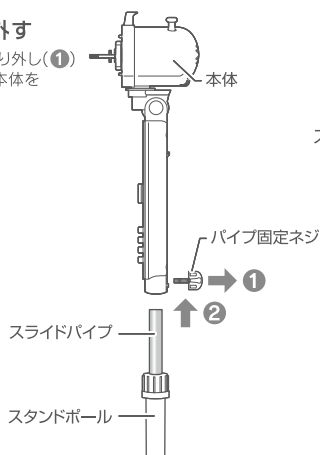
スピナーは時計回り、ナットは反時計回りに回すと外れます。



## 2. 本体の取り外し方

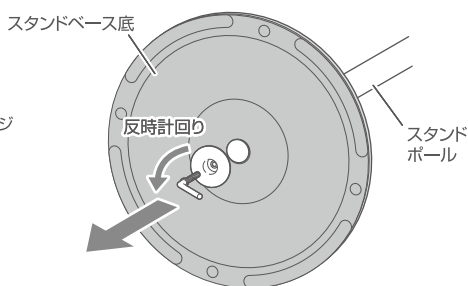
### ① 本体を取り外す

パイプ固定ネジを取り外し(①)、スライドパイプから本体を取り外します(②)。



### ② スタンドベースからスタンドポールを引き抜く

底面の固定ネジ、固定ワッシャーを取り外し、スタンドベースからスタンドポールを引き抜きます。



### ▲ 注意

- スタンドやガード、羽根などの取り外し中にケガをしないように注意してください。
- 本体や部品に付着した汚れを良く拭き取って保管してください。
- ビニール袋などに各部品を入れて、お買い上げ時の箱に入れて保管してください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に放置しないでください。変形や故障の原因になることがあります。

# 故障かな?と思ったら...

症状	原因	処置・確認
正常に運転しない	電源プラグが正しく差し込まれていますか?	コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
	羽根は正しく取り付けられていますか?	羽根を正しく取り付けてください。
	ご家庭のブレーカーが落ちていませんか?	100V15A以上のコンセントに単独で使用してください。
	オフタイマーつまみが【切】の位置になっていませんか?	オフタイマーつまみの位置を【連続】または【0.5】～【2】の位置に設定してください。
異常音がる	羽根は正しく取り付けられていますか?	組み立て方(4～6ページ)を参照し組み立てに不備がないか確認してください。
	ガードは正しく取り付けられていますか?	
	ガードと羽根が接触していませんか?	
	羽根やモーター軸にホコリが溜まっていませんか?	お手入れをしっかりとこなしてください。(ホコリ等を取り除いてください)
自動で運転を停止した	オフタイマーで電源が切れていませんか?	オフタイマーを設定すると、設定した時間経過後に運転を停止します。オフタイマーつまみの位置を【連続】または【0.5】～【2】の位置に設定してください。

- 上記内容を全てお試しの上で直らない、またはそれ以外の不具合がおこった場合は弊社アフターサービス(13ページ参照)までご連絡ください。
- 安全に長くご愛用していただくために、日頃から点検をおこなってください。

# 仕様

品番	AFL-233T/FSSL-2332D
品名	ACフロアー扇風機
製品寸法	(約)W450×D400×H1190~1440mm
本体質量	(約)8.0kg
定格電圧/定格周波数	100V 50/60Hz
消費電力	45/51W
電源コード	(約)1.8m
首振り角度	左右:(約)78度自動 上下:(約)22度(上:14度/下:8度)手動
材質	本体:ABS樹脂、ポリプロピレン 羽根:AS樹脂 重り(スタンドベース底):ポリエチレン+セメント ガード・ポール:スチール

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

## 長期使用製品安全制度に基づく本体表示

本体に表示している【設計上の標準使用期間】とは、経年劣化により危害の発生が高まることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた内容の表示を行っています。

### ○設計上の標準使用期間とは？

右記の標準的な使用条件の下で、適切な取扱い、適切な維持管理により、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準期間を記しています。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証する期間ではありません。無償保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

### ○ご注意

(社)日本電機工業会が規格化した基準条件で算出した目安期間ですので、使用頻度、使用環境、業務用などで使用すると、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化する可能性があります。

(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3による【扇風機】

環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度/湿度	30℃/65%±20%
	設置場所	取扱説明書による標準設置
負荷条件		定格負荷(風速)
想定時間など	運転時間	8時間/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%



注意

設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。点検のご用命は弊社アフターサービスまでご連絡ください。

# アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

## 1.修理を依頼される時

- \*保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参、または弊社にご連絡ください。保証書の記載内容により無料修理致します。
- \*保証期間が過ぎている時は、弊社に連絡の上、ご相談ください。
- \*保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は字句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

## 2.補修用性能部品の保有期間

- \*この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 3.保証書について

- \*保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- \*保証期間はお買い上げ日から1年間です。

## 修理・部品購入のお問い合わせ

ご連絡していただきたい内容

●品名 ●品番 ●お買い上げ日 ●販売店 ●故障の状況を具体的に

修理に関するお問い合わせ

0120-350352

部品購入に関する  
お問い合わせ

0587-22-5353

インターネット販売  
Website\* <PC>

www.apix-direct.jp



2次元コード

営業時間：(平日)月曜日～金曜日 ※祝祭日を除く  
午前10:00～11:30 午後1:00～5:00

※混雑時には繋がりにくい場合があります。  
繋がらない場合は下記番号におかけください。  
予備回線:TEL.0587-38-5320

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

## 廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。  
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。